


知っていますか？ 風しんのこと

 高知県立大学健康管理センター

現在、関東地方を中心に、風しんの流行が続いています。

今後、全国に拡大する可能性もありますし、就職活動などで行くこともあるかもしれません。

また、風しんの感染予防は、皆さんの将来を考える上で、とても大切なことです。

むやみに心配する必要はありませんが、風しんについて知り、必要な対応をしておきましょう。

1. 風しん、とは？ 心配なことは？

- 発熱、発しん、リンパ節腫脹を特徴とするウイルス性発しん症。
- 風しんウイルスを含んだ飛まつ（咳やくしゃみ、会話、発語などで飛び散るしぶき）を吸い込んで感染する。
- 風しんウイルスの感染力は、インフルエンザウイルスの**2~4倍！**とされている。
- 手洗いやマスクの装着は、十分な風しんの予防手段とは考えられていない・・・



➡ **風しんの予防には、風しんワクチンの予防接種が有効**



* 風しんは、妊娠した女性が感染してしまうと、お腹の赤ちゃんにも感染し、赤ちゃんが病気を持って生まれる可能性があります。

この病気を「先天性風しん症候群」と言い、妊娠初期ほどその確率は高くなります。

2. 予防接種はできていますか？

- ✓ 予防接種歴を母子手帳で確認しよう。
- ✓ 看護学部/研究科・社会福祉学部・健康栄養学部・文化学部（教育実習を選択する3回生以上）は、定期健康診断の結果から、風しんの抗体価を確認しよう。

妊娠を希望する女性だけでなく、自分が感染源とならないように予防することが大切です。



予防接種を受けたか不明な方は、医療機関で抗体価検査を受けることができます。

検査の結果、抗体価が基準を満たしていない場合は、早めに予防接種を検討しましょう。

◆ ヘルスパスポートを活用しよう！

ヘルスパスポートには、感染症に関するより詳しい説明と、自分の予防接種歴や罹患歴が記録できるページがあります。これまでの記録はもちろん、追加で予防接種をしたら、その接種証明を必ず保存しておきましょう。

◆ わからないことや知りたいことのある場合は、お気軽に健康管理センターに相談してください。

3. 情報を持つ 報道などに注意を払い、感染症の正確な情報を得るようにしましょう。

- ・厚生労働省「風しんの感染予防の普及・啓発事業」

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/vaccination/index.html

- ・国立感染研究所「風しん Q&A」 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>